

埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

復習シート 第六学年 国語



組	番号	名前	模範解答

【「話すこと・聞くこと」を問う問題】

片岡^{かたおか}さんは、「どのようにしてニュース番組がつけられているのか」について、学級で発表することになりました。片岡さんの発表を聞いて、大森さんは感想を伝えました。次の

【片岡さんの発表原こう】と【大森さんの感想】を読んで、あとの問いに答えましょう。

【片岡さんの発表原こう】

みなさんは、どのようにしてニュース番組がつけられているのかわ知っていますか。ニュース番組は、わたしたちの生活に欠かすことができません。そんなニュース番組がどのようにつけられているのかを発表します。

まず、ニュース番組づくりに必要な情報を集めます。そして、どのニュースを放送するのかわを決めたら、記者が取材に行きます。より正確な情報を得るために、多くの時間をかけて取材の準備を行います。次に、取材した情報やえい像をもとにニュースで読まれる原こうを作成します。放送時間に合わせて、さつえいしたえい像に文字や音声などを入れ、編集をしていきます。最後に、アナウンサーが原こうを読み、スタジオから生放送をします。

わたしは、放送局で働く人の仕事をもっとくわしく知りたいと思いい、「ニュース番組づくり体験」に参加しました。そこでは、プロンプターという役わりをたん当しました。

イ

アナウンサーが正確に原こうを読めるように、合図のタイミングに気をつけました。本番は、一回きりなのでとてもきん張りましたが、上手にできてよかったです。他にもカメラマンやオーディオミキサーなど様々な役わりがあつて、一つのニュースをつくるだけでも、こんなにも多くの人が協力し合っていることにおどろきました。

毎日、当たり前前に放送されているニュース番組が、多くの人の工夫や努力によってつくられていることがわかりました。これからは、放送局で働く人たちの工夫を考えながら、ニュース番組を見たいと思います。

【大森さんの感想】

ア



初めて聞いた言葉があつたので、説明があつた方がわかりやすいね。

【1】 【大森さんの感想】アでは、片岡さんの発表の工夫について話しています。最もふさわしいものを、次の1～4の中から一つ選びましょう。

レベル7

- 1 聞き手の興味をひくために、初めに自分の体験から話しているね。
- 2 聞き手にもいっしょに考えてもらうために、問いかけをくり返し使っているね。
- 3 聞き手に体験の様子がより伝わるように、実際の体験に感想を交えて話しているね。
- 4 聞き手にニュースの重要性が伝わるように、番組づくりの苦労を話しているね。

3

- 1 体験は話しているが、初めではない。
- 2 問いかけは最初の一文で使っているが、くり返し使っていない。
- 4 ニュースの重要性や番組づくりの苦労については話していない。

【2】 片岡さんは、大森さんの感想を受けて、イに次の一文を加えることにし

ました。その意図として最もふさわしいものを、次の1～4の中から一つ選びましょう。

レベル7

プロンプターとは、アナウンサーにセリフや行動の合図を送る人のことを言います。

- 1 特に伝えたい内容をくり返し伝えることで、自分の考えを強調している。
- 2 具体例を示すことで、より身近なこととして考えてもらえるようにしている。
- 3 予想される質問に先に答えることで、スムーズに話が進められるようにしている。
- 4 せん門用語の説明を入れることで、正確に理解してもらえるようにしている。

4

「初めて聞いた言葉があつたので、説明があつた方がわかりやすいね。」という大森さんの感想を受けて、プロンプターというせん門用語の説明を入れている。



埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

復習シート 第六学年 国語

模範解答



組	番号	名前

【「書くこと」を問う問題】

- ① Aの文は読む人に分かりにくいと思い、読点「、」を入れてBの文に直しました。
 Bの文の内容を表しているのは、①と②のどちらですか。
 数字で答えましょう。

レベル8

1

A 大島さんは犬とちようちようを追いかけた。
 B 大島さんは、犬とちようちようを追いかけた。

① 追いかけているのは、大島さん
 ② 追いかけているのは、大島さんと犬

読点が入らないと、読む人は「大島さんは、犬といっしょにちようちようを追いかけた」とも受け取れます。

2

A 石川さんはサッカーをしながら歌っている新井さんを見た。
 B 石川さんは、サッカーをしながら歌っている新井さんを見た。

① サッカーをしているのは、石川さん
 ② サッカーをしているのは、新井さん

読点が入らないと、読む人は「石川さんがサッカーをしているときに、新井さんを見た」とも受け取れます。

3

A 先生は急いで走っている松本さん呼び止めた。
 B 先生は急いで、走っている松本さん呼び止めた。

① 急いでいるのは、先生
 ② 急いでいるのは、松本さん

読点が入らないと、読む人は「松本さんが急いで走っていた」とも受け取れます。

推敲するときには、読む人にとって分かりやすい文章になるよう、確かめたり工夫したりしましょう。

埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

復習シート 第六学年 国語



組

番号

名前

模範解答

【「読むこと」を問う問題】

1 次の文章を読んで問いに答えなさい。

鼻にとくちようがある動物というと、みなさんはどのような動物を思いうかべますか。きつとゾウを思いうかべる人が多いことでしょう。ゾウといえば、長い鼻がとくちようの一つです。では、ゾウの鼻はどうして長いのでしょうか。

大昔のゾウの体は、今のゾウの体よりもずっと小さかったといわれています。鼻も今より短かったのですが、長い年月の間に体がだんだんと大型化し、口が地面からはなれていったようです。それとともに、鼻と上くちびるがいつしよに長くのびていったことで、頭を下げなくても草や水を口に運ぶことができるようになったと考えられています。

ゾウは、長い鼻^①を使っているいろいろなことができます。例えば、食べ物をつかんで口に運んだり、水をすいあげて飲んだりすることができます。また、すいあげた水をシャワーのようにして浴びたり、鼻をからませ合せてあいさつをしたりすることもできます。このように、ゾウの長い鼻は、生活する上でさまざまなことに役立つているのです。

ゾウの鼻は、ほかの動物たちと同じように、においを感じ取ることもできます。長いからといって、においを感じ取ることができないわけではないのです。むしろ、においを感じ取ることについては、ひじょうにすぐれており、二、三キロメートル先のおいをかぎ分けるともいわれています。

すぐれた鼻を使うことで、水場や食べ物をさがすこともできます。また、においのちがいで仲間を見つけることもできます。

ゾウのほかにも、においを感じ取ることについてすぐれた動物はたくさんいます。

（内容が続く）

平成二十六年 全国学力・学習状況調査国語B 大問2

※本文は全国学調のもの 問題は埼玉県独自のものです。

(1) ① とありますが、長い鼻を使ってできることは何ですか。

次のア～エの中からあてはまらないものを一つ選びなさい。

レベル9

- ア すいあげた水をシャワーのようにしてあびること
- イ 体が大型化することで、口が地面からはなれること
- ウ 鼻をからませ合ってあいさつすること
- エ 食べ物をつかんで口にはこぶこと



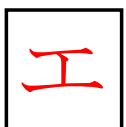
「長い鼻を使ってできること」とあるので、三段落にある事例をよく読んでから選択する必要があります。また、筆者が各段落でどのような事例を取り上げて例を示しているか考えることも大切です。

(2) 文章について述べているものとして、あてはまらないものを次のア～エの中から一つ選びなさい。

レベル9

- ア 筆者は「長い鼻を使うことでどのようなことができるのか」といった鼻の役目について事例としてあげている。
- イ 筆者は「ゾウの鼻がどうして長くなったのか」その順じよを説明している。
- ウ はじめの段落に問いの文章を入れることで読み手の興味を高めている。
- エ はじめの段落に筆者の伝えたいことを述べることで、説得力をもたせている。

普段の授業から、説明文を読むときは、筆者の主張がはじめに書かれているか、文章のはじめとおわりに書かれているのか、おわりに書かれているのか などについて考えながら読むようにしましょう。



埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

復習シート 第六学年 国語



組
番号
名前
模範解答

【「言葉」を問う問題】

1 次の文の _____ 線部に対する主語を、書き抜きましょう。

レベル9

① 運転手が、アクセルをふむと、車は、矢のように走りだした。

車は

② ねずみが、雪山の頂上にたどり着いたとき、きつねは、ふもとでぼうぜんとして立ちつくしていた。

きつねは

_____ 線部（述語）について、それをしているのは「何か」・「だれか」を考えましょう。

① 「走り出した」のは何？

② 「立ちつくしていた」のはだれ？

2 次の文中の（ ）に合う言葉を、 から選んで書きましょう。

レベル5

① はげしい雨が続き、巢がこわれなにか心配だった。（ ）（ ）ひなは、無事に巣立っていった。

しかし

② わたしがよく利用する乗り物は、二つある。一つは、バスだ。（ ）（ ）もう一つは、電車である。

そして

または
しかし
つまり
そして
なぜなら

「または」・・・前の文と後ろの文をくらべたり、どちらかひとつを選んだりするとき

「しかし」・・・前の文と反対になるような内容の文や、前の文から予想されない内容の文が、次に来るとき。

「つまり」・・・前の文についての説明を表すとき

「そして」・・・前の文と後ろの文が、同じようにならんでいるとき

※ここでは、「一つは」「もう一つは」と、よく利用する乗り物として、二つの文が同じようにならんでいるため、「そして」を用います。

「なぜなら」・・・前の文についての説明や理由を表すとき

③ 次の文の 線部の意味と同じ意味で使われているものを、1～4の中から一つ選びましょう。

レベル7

母の手をにぎる。

- 1 行く手をはばまれる。
- 2 ほかの手を考える。
- 3 手をたたいてわらう。
- 4 手が足りない。

「手」という漢字は、指を広げた手の形からできた字です。この字には、手のほかにもたくさんの意味がふくまれています。

- 1 「行く手」の「手」・・・方向、道
- 2 「ほかの手」の「手」・・・方法や手だて、やり方
- 4 「手が足りない」の「手」・・・人や力、人手

3

④ 次の文の 線部の言葉がくわしくしている言葉を、ア～エの中から一つ選びましょう。

レベル7

- ① 公園で、小さな子どもが 元気に 遊んでいる。
- ② きれいな 赤い 花が、たくさん 咲きました。

① 「公園で」は「遊んでいる」に係っています。

エ

② 「きれいな」と「赤い」が「花が」に係っています。

イ

⑤ 次の文の 線部を、□の中の 線部の敬語と同じ使い方の敬語に直しましょう。

レベル7

① わたしが明日、荷物を取りにうかがいます。

「もらう」を謙じよう語に直します。

近所の小林さんから、わたしはお土産をもらいました。

いただきました

「わたしが」が主語なので、「うかがう」は謙じよう語です。

② 校長先生がお話しになります。

「校長先生が」が主語なので、「お話しになる」は尊敬語です。

「いる」を尊敬語に直します。

お客様が、職員室にいます。

いらっしゃいます